

2023年度 環境経営レポート



かをり。それは時と感性の記憶です。
私たちは、皆様の生活と健康に貢献できる
香料の開発に取り組んでいます。

活動期間：2023年1月1日～2023年12月31日

発行日：2024年4月30日

宮坂香料株式会社

組織の概要

事業者名	宮坂香料株式会社
代表取締役	宮坂重毅
所在地	埼玉県上尾市中新井403番地
設立	昭和23年3月17日
資本金	2千万円
売上高	860百万円
従業員数	49名
延べ床面積	3134.99m ²
事業の概要	香料の製造販売及び輸出入
認証対象範囲	全組織・全活動
環境管理責任者	環境管理責任者 井上三重
連絡担当者	環境管理事務局 吉田克準
事業所	本社
	東京都中央区日本橋本町1-4-9 日本橋MMIビル3階
	TEL. 03-3241-6101(代表) FAX. 03-3241-6460
	食品研究所
	埼玉県上尾市中新井403番地
	食品香料工場
	埼玉県上尾市中新井403番地
	香粧品研究所
	埼玉県上尾市中新井448-9番地
	香粧品香料工場
	埼玉県上尾市中新井448-9番地

環境経営方針

〈基本理念〉

宮坂香料株式会社は経営ビジョンにある技術力・創造力・実行力で香料製造に伴う環境への負荷削減及び地球環境保全、地域環境活動に全従業員とともに継続して自主的・積極的に取り組みます。

〈活動方針〉

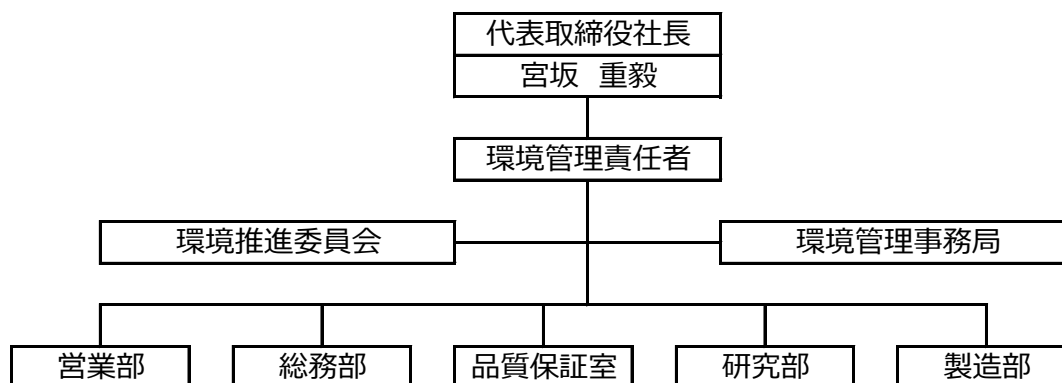
1. 環境経営方針、環境経営目標を達成するために適切な組織を構築し、目標を定めて毎年定期的見直しを行うとともに必要な場合は臨時に見直しを行います。
2. 環境関連の法規、条例及び当社が合意したその他の要求事項を遵守し、実行します。
3. 当社の事業活動が環境に影響を与える以下の項目に取り組みます。
 - ①省エネルギー推進、CO₂削減（電力使用量抑制、車の燃費向上他）
 - ②廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ③節水活動
 - ④化学物質の管理の徹底
 - ⑤製造工程の見直し改善による原材料ロスの削減
 - ⑥地域活動への貢献
4. 環境経営方針達成のための取り組みを会議や朝礼を利用し周知徹底を行い、全従業員を挙げて環境活動を推進します。
5. 環境レポートを公表し、透明性のある環境保全活動に努めます。

2023年1月19日

宮坂香料株式会社 代表取締役

宮坂重毅

組 織 図



	役割・責任・権限
代表取締役社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員に周知 ・環境目標・環境活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書の確認 ・環境活動の取組結果や遵守評価の確認と代表者への報告 ・環境活動レポートの確認
環境管理事務局	・環境管理責任者の補佐及び環境推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付と地域事務局への送付）
環境推進委員会	・環境に対する小集団活動の取りまとめ ・各部門における環境経営システムの実施 ・各部門における環境方針の周知 ・各部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・各部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・各部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成
全従業員	・環境方針の理解と環境取り組みの重要性の自覚と実行 ・環境活動で決められたルールを守り、自主的・積極的に実践

環境目標

環境方針	基準年度	単位	2023年
	2022年(1月～12月)		1月～12月
電力削減	—	増減率	-1.0%
	224,887	k W h	222,638
都市ガス削減	—	増減率	-1.0%
	15,500	m ³	15,345
LPG削減	—	増減率	-1.0%
	4,481	k g	4,436
ガソリン使用量の削減	—	増減率	-1.0%
	1,250	ℓ	1,238
二酸化炭素削減 (参考値)	—	増減率	-1.0%
	153,554	k g - C O 2	152,019
産業廃棄物削減	—	増減率	-1.0%
	13,557	k g	13,421
一般廃棄物削減	—	増減率	一袋に入れるゴミの量を減らす
	52	袋	
一般廃棄物削減	—	増減率	廃棄物量の調査
	データなし	k g	
水使用量削減	—	増減率	-1.0%
	958	m ³	948
化学物質管理			化学物質の管理の徹底
地域貢献活動 (工場周辺の清掃活動)	—		毎日

*1:電力、燃料等は使用量（削減量ではない）を示す

*2:基準年度に対する増減率

歩留り向上以降の項目は目標値の設定ができないために、取組方向を示す

手順：①環境責任者は毎年作成し、社長が承認する。

②環境経営方針の改訂、又は売上高、営業方法等を大幅に変更するときには環境責任者は改訂し、社長が承認する。

使用停止後3年間保管

環境目標（中長期）

環境方針	基準年度	単位	環境目標		
	2022年度		2023年度	2024年度	2025年度
電力削減	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	224,887	k W h	222,638	220,389	218,140
都市ガス削減	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	15,500	m ³	15,345	15,190	15,035
LPG削減	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	4,481	k g	4,436	4,391	4,347
ガソリン使用量の削減	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	1,250	ℓ	1,238	1,225	1,213
二酸化炭素削減 （参考値）	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	153,554	k g - C O 2	152,019	150,483	148,948
産業廃棄物削減	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	13,557	k g	13,421	13,285	13,150
一般廃棄物削減（本社）	—	増減率	一袋に入れるゴミの量を減らす		
	52	袋			
一般廃棄物削減（工場）	—	増減率	廃棄物量 の調査	2024年以降に目標 を設定	
	データなし	k g			
水使用量削減	—	増減率	-1.0%	-2.0%	-3.0%
	958	m ³	948	939	929
化学物質管理			化学物質の管理の徹底		
地域貢献活動（工場 周辺の清掃活動）	—	回数	毎日	毎日	毎日
		回			

*1:電力、燃料等は使用量（削減量ではない）を示す

*2:基準年度に対する増減率

歩留り向上以降の項目は目標値の設定ができないために、取組方向を示す

手順：①環境責任者は毎年作成し、社長が承認する。

②環境経営方針の改訂、又は売上高、営業方法等を大幅に
変更するときには環境責任者は改訂し、社長が承認する。

使用停止後3年間保管

環境活動計画と実績、次年度の取組み

対象期間

2023年1月～2023年12月

活動項目		責任者	単位	達成状況		評価	次年度の取組み	
				目標	実績			
二酸化炭素 排出量の削減	本社 工場	電力使用量の削減 ・冷房 2 8℃、暖房 2 2℃ ・空調機のフィルタ・フィン清掃 ・消灯、不要電気OFF ・コンプレッサーエア漏れ点検 単位：kW時 ・送風機のインバーター化 ・クールビズの実施	土方	Kwh	222,638	208,104	○ × ○ ○ ○ ○ ○	LEDに変えた効果が出始めているかと思われ、累計実績が累計目標を超えなかった。設定温度見直しを行う。無駄な電力が使われていないか、節電バトルや声掛けを続けていく。
		ガソリン使用量の削減 ・エコドライブ10の実施 ・ルートの検討 ・走行距離記録	新木	ℓ	1,238	1,307	× ○ × ○	本社工場間の行き来や営業活動の増加により、自動車の使用が増えた事による。引き続きエコドライブ10の周知を行い、各自念頭において運転する。
		LPG使用量の削減 ・ボイラーの断熱 ・湯銭槽へ蓋設置	加藤	kg	4,436	6,418	× ○	ボイラーの断熱等により目標値に近づけた。引き続き現場での声掛けを徹底する。
		都市ガス使用量の削減 ・冷房 2 8℃、暖房 2 2℃ ・空調機のフィルタ・フィン清掃	加藤	m	15,345	16,002	× × ○	目標値を上回っていますが、サーキュレーター等使用により値に近づけた。温度調整を引き続き声がけていく。
		二酸化炭素排出量の削減 ・電力削減とLPG削減の記載内容	新木	Kg-CO2	152,019	151,539	○ ○	引き続き節電バトルを行い、使わない場所の電気を消すよう声掛けをしていく。
産業廃棄物の削減	工場	産業廃棄物の排出量削減 ・分別の徹底とリサイクル ・リサイクル率の向上	兼杉	kg	13,421	28,370	× ○ ○	一般廃棄物を設けた効果は出ているのでより分別をしっかりと削減を目指す。
一般廃棄物の削減	本社	一般廃棄物の排出量削減 ・一袋に入れるゴミの量を減らす	板垣	袋	52	51	○	昨年まで袋の数で換算していたがより正確な排出量削減に向けて計測し廃棄量の調査をする。
一般廃棄物の削減	工場	一般廃棄物の排出量削減に向けて廃棄量を調査	兼杉	kg	廃棄物量の調査	1390	—	去年の値より削減できるようペーパータオルの無駄遣いしないなど出来ることはやっていきたい。
水使用量の削減	本社 工場	水使用量の削減 ・現場洗面 流しっぱなし防止 ・節水表示を行う	竹内	m	948	1,029	× ○ ○	通年で目標値を上回っている。工場での使用量が多いのでミーティング時などの呼びかけを強く行う。
化学物質使用量の適正管理	工場	化学物質の適正管理	竹内				規格書、SDSによる管理はできていた。PRTR法改正に伴い管理物質が増えたので、より一層管理を徹底して行う。	
地域貢献活動	工場	工場周辺の清掃活動	吉田				日々の清掃にて工場周辺の清掃活動が行われていた。	

*電力の排出係数0.455kg-CO2/kWhは、東京電力エナジーパートナーの2018年の調整後排出係数である。

環境関連法規等とりまとめ一覧表

改正状況確認日:2023/1/20

遵守状況確認日:2023/1/20

遵守：○、不遵守：× ↓

廃棄物処理法、市町廃棄物処理と再生利用条例		実施状況	評価
排出事業者		—	—
契約	収集業者と処分業者と個別に契約しているか	収集運搬 飯塚商店、リムフ、万力、IA・ウォーター社 中間処理 リムフ、万力、行田グリーンパック社と契約	○
	委託品目が許可されているか	当社の委託品目が許可されている	○
マニ フェ スト	B 2 票、D 票は 9 0 日以内に、E 票は 1 8 0 日以内に返っているか	確認している。	○
	マニフェストを 5 年間保管しているか	保管している。	○
	毎年マニフェスト報告書を県に提出しているか	提出済み	○
保管	種類、管理者名、保管量を表示しているか	表示板あり	○
	飛散、流出、悪臭がない様になっているか	飛散、悪臭なし	○
浄化槽法		実施状況	評価
浄化槽の設置届・変更届をしているか		設置届出済	○
機器の点検を年 4 回（又は 3 回）行っているか		年 6 回点検	○
清掃、水質検査を年 1 回行っているか		清掃・検査年 1 回実施（第二工場未実施）今年9月実施	○
騒音規制法		実施状況	評価
作業 場	工程施設の設置・変更届を行っているか	規制基準値以内の為、提出なし	○
	騒音値は規制基準値以内か（3 種区域：昼 6 5、朝・夕 6 0 d B）	昼 5 8 d B	○
フロン排出抑制法		実施状況	評価
廃棄時 (回収・ 破壊)	業務用エアコン、冷凍機器類を廃棄するときに、登録しているフロン回収業者に回収させたか	廃棄実績なし	○
	フロンマニフェストを交付し、3 年間保管しているか	廃棄実績なし	○
点検	3 カ月に 1 回以上の頻度でフロン類の漏れを簡易点検しているか	3 カ月に 1 回実施	○
	修理点検記録を機器の廃棄時まで保管しているか	今年は修理無し	○
埼玉県生活環境保全条例		実施状況	評価
アイド リング	アイドリングストップを行っているか	エコドライブ推進中	○

※過去 5 年間環境関連法規等への違反はありません。 また関係当局より違反等の指摘もありません。

社会・環境への取り組み

当社はエコアクション21の活動を通じ、地域や社会への貢献、環境活動を推進しています。

上尾工場内すべての照明をLED化しました。



上尾工場内には製造棟が2棟、事務所棟、倉庫など6つの建物がありますが、そのすべての照明をLED化しました。これにより光熱費の削減が見込まれますが、CO2削減による環境保護にも貢献することができます。それ以外にも点灯スピードのアップ、照度アップによる作業効率の改善、交換頻度の低減などが期待できます。なかでも高所にある照明交換作業は通常よりも危険性が増し、労働災害にもつながりやすいものとなっていたので、安全対策としても効果が期待できます。

工場内すべてのエアコンを最新機種へ更新しました。



上尾工場内すべてのエアコンを最新機種に更新しました。事務所などでは温度管理がしやすく、快適な作業環境になったと好評です。また、エアコンフィルターパネルの自動昇降装置が付いたので掃除もしやすくなりました。

なおLED化、エアコン更新は各種補助金を利用し、コストを極力抑えました。

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施期間 2023.1.1～2023.12.31

実施者 代表取締役 宮坂重毅

(1) 全体の確認・評価

事項	報告内容	代表者の評価
(1)環境目標の達成状況	電力使用量は抑えられたがLPG、都市ガス、ガソリンなどは目標未達であった。	環境目標を達成した項目は少なかったが、社内において環境活動が定着してきたので今後の数値改善に期待したい。
(2)環境活動計画の実施及び運用結果	ガソリン・LPG・都市ガス・水は数値で見ると未達成だが、照明のLED化や古かったエアコンの交換で電力消費が抑えられた。結果として二酸化炭素排出量は目標達成。 産業廃棄物はばらつきがあるため数値では未達成。 地域貢献活動として普段おこなっている毎日の清掃ができた。今後も出来る事から継続的に実施していく。	照明のLED化、エアコン設備の更新が秋口に行われたので、来期も数値改善が期待できる。 産業廃棄物の総量は減らなかったが、ゴミの適切な分別により廃棄費用は抑えられたことは良かった。
(3)環境関連法規のなどの遵守状況	全て遵守出来ていました。	順守されていることを確認した。
(4)外部からの苦情や要望	なし	—
(5)前回の指示事項への取組結果	基準年の変更済み。清掃活動として毎日敷地内の掃除を行っている。	一部の人だけが取り組むのではなく、社員全員で行ってほしい。
(6)その他	特になし	古い設備、備品などは適宜、環境負荷の低いものに更新していきたい。 環境への取り組みが全社員に少しずつ浸透するように、社内へのアピールを行ってほしい。

(2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の必要性	指示事項等
1. 環境経営方針	なし	なし
2. 環境目標	なし	基準年の考え方について審査員に相談する。
3. 環境活動	地域貢献活動として協賛は多く行っているが、地域の団体や企業、住民などとの関りは多くない。	香りを通して地域貢献できないか改めて検討。商工会議所などに相談する。
4. 実施体制	なし	なし
5. その他	なし	なし

※年1回(3月)に実施、報告者は環境管理責任者